

# 中小企業の地域別景況／2008年9月調査

<10月16日(木)14時発表>

商 工 中 金

## <概況> 景気判断を悪化とする地域が増加、全地域が『悪い』に。

- 2008年7～9月の中小企業の景況をみると、「曇」は、③関東、④甲信越、⑤東海、⑥北陸、⑦近畿、⑧中国、⑨四国の7地域。「小雨」は、①北海道、②東北、⑩九州・沖縄の3地域。前回調査(2008年1～3月)と比べて(下表C-A)、⑦近畿、⑨四国を除き、全地域が悪化した。
- 10～12月の見通しで(同D-C)は、④甲信越、⑥北陸が「曇」から「小雨」に悪化の見通し。

## <地域景況天気図>




地域	前回調査	今回調査				
	A 2008年 1～3月	B 2008年 4～6月	C 2008年 7～9月	C-A 08年1～3月 からの変化	D 2008年10～ 12月(見通し)	D-C 08年7～9月 からの変化
① 北海道				↓		→
② 東北				↓		→
③ 関東				↓		→
④ 甲信越				↓		↓
⑤ 東海				↓		→
⑥ 北陸				↓		↓
⑦ 近畿				→		→
⑧ 中国				↓		→
⑨ 四国				→		→
⑩ 九州・沖縄				↓		→
『成る』		-	-	-	-	-
		1	-	-	▲1	-
		4	3	-	▲4	-
『悪る』		5	5	7	+2	5
		-	2	3	+3	5
		-	-	-	-	-

・晴 (非常に良い)  
 ・薄日 (良い)  
 ・薄曇 (やや良い)  
 ・曇 (やや悪い)  
 ・小雨 (悪い)  
 ・雨 (非常に悪い)

◇**地域景況の判断** 当金庫の国内全92営業店を10地域に分け、個々の営業店が日々の業務を通じて収集した取引先中小企業の景況についての情報を、各地域の母店が集約して、担当地域の景況を総合的に判断したもの。本調査は1993(平成5)年9月に開始、今回調査が第31回。

## 地域別の景況

### ① 北海道

中小企業の景況	2008年 1～3月 (前回調査)	2008/4～6	2008/7～9月	2008/10～12 (見通し)
	 やや悪い	 悪い	 悪い	↓

#### 1 管内のマクロ経済情勢 (2008年7～9月)

北海道地域の景気は、**弱含み**で推移している。

**個人消費**は、天候要因やガソリン価格高騰の影響などから、衣料品を中心に弱めの動き。

**設備投資**は、道外企業の進出などから一部地域で増加がみられるものの、総じて低調に推移。

**住宅投資**は、弱含みで推移。

**雇用情勢**は、有効求人倍率は低水準で横這い。新規求人数は減少基調であり、厳しい情勢が続いている。

#### 2 取引先主要業種の動向

##### 2.1 食料品製造: 原材料価格高騰の転嫁は進んでいるものの、フル転嫁はできず厳しい

**味噌・醤油・納豆製造業**では、輸入大豆・蒟蒻原料等の仕入価格高騰の影響が続いている。販売価格への転嫁については、大手スーパーなども含めて大半の販売先に認められているものの、十分ではなく、採算は厳しい状況が続いている。

**水産加工業**では、食の安全に関する意識の高まりから国内産が見直されており、販売数量を増やしている企業もみられるが、単価の回復には至っておらず、業況回復といえるほどの追い風にはなっていない。

##### 2.2 木材・木製品製造: 小規模製材業者は原材料の確保に苦労し、一段と厳しい状況

マンションの新築住宅着工の激減により、内装材の需要は低迷。一方、木造住宅に用いるプレカット材は比較的底堅く推移。

ロシアからの原木輸入については、針葉樹・広葉樹ともに2009年1月からロシアの輸出関税が80%に引き上げられる予定。今後の北洋材仕入価格の上昇を見越して既に1年半分程度の在庫を手当てできている業者もいるが、小規模製材業者は原材料の確保に苦労し、一段と厳しい状況。

##### 2.3 道路貨物運送 (トラック運送): 冬季の消費支出減少による物流減を懸念

燃料費が上昇する一方で、運賃への価格転嫁は進まず、収益状況は厳しい。物流倉庫を持ち、出荷業務などを請け負うことで付加価値を付けられる業者は、相応に収益をあげているが、運送業務のみの会社は規模の大小に関わらず採算が厳しい。

冬季を迎えるにあたり、灯油価格の高止まりは暖房支出の多い道内家庭に痛手であり、家計支出の減少に伴う消費財の物流減も懸念される。

##### 2.4 宿泊 (旅館・ホテル): 食材価格上昇・燃料費高騰から明るい兆しの見えない状況

4～6月の来道客数は、2,958千人で前年同期比▲1.5%。洞爺湖地区ではサミットの厳戒警備を敬遠して修学旅行が他の地域へ振り替えられた影響などで観光客が減少した。

道内ではガソリン価格の高騰によりマイカーでの旅行を手控える傾向が見られた一方、東アジアを中心とする海外客は底堅く推移。

食材価格の値上がり分の転嫁が進まず、燃料費高騰の収支圧迫要因を抱えており、冬季に向けて明るい兆しの見えない状況。

## ② 東北

中小企業 の景況	2008年 1～3月 (前回調査)	2008/4～6	2008/7～9	2008/10～12 (見通し)
	 やや悪い	 やや悪い	 悪い	↓

### 1 管内のマクロ経済情勢 (2008年7～9月)

東北地域の景気は、**弱含み**で推移している。

**個人消費**は、百貨店売上高(既存店)の前年割れが続くなど、弱めの動きがみられる。ガソリンや食料品の価格が上昇する一方で、所得環境には目立った改善が見られず、消費は弱含み。

**設備投資**は、慎重な姿勢が広がりつつある。

**住宅投資**は、景気が弱めの動きとなる中、新設住宅着工は持家、貸家、賃貸とも減少基調。

**公共投資**は、減少傾向続く。

**雇用情勢**は、有効求人倍率が低水準で推移。企業収益の悪化を背景に企業の採用スタンスは慎重。

### 2 取引先主要業種の動向

#### 2.1 食料品製造: 材料価格が上昇を続け一段と収支圧迫

水産加工分野では、高級品として知名度の高いかまぼこで価格交渉力を有する企業もあるが、総じて見ると、海外の需要増加等から**仕入価格が上昇**を続けている一方で販売価格への転嫁は難しく、一段と収支が圧迫されている企業が多い。

#### 2.2 建設: 暫定税率復活後も公共工事の受注動向は鈍い

公共工事関連予算の削減が続く中で、暫定税率問題による工事の発注遅れも重なり、土木工事業者にとって厳しい経営環境が続く。

大型商業施設の建築もあって、民間部門中心に工事発注量が増加している地域もあるが、元請けの大手ゼネコンの価格に対する要求が厳しいことに加えて、鋼材・セメント等の原材料が高騰していること等から、取引業者の採算は依然厳しい。

#### 2.3 道路貨物運送 (トラック運送): サーチージ制度の浸透進まず

運賃引上げ交渉は、段階的に進められているものの、それを上回るペースで燃料費の高騰が進んでおり、引き続き経営環境は厳しい。多くの企業が採算割れとなっているなか、業界では「燃料サーチャージ制度」の普及に期待を寄せているが、荷主への浸透は進んでおらず、企業業績の悪化は避けられない情勢。

#### 2.4 宿泊 (旅館・ホテル): 個人消費の低迷から宿泊単価を上げられず

青森ねぶた祭では、前半は天候不順から入込客の減少が懸念されたが、後半には客足を盛り返して比較的好調に推移した。

旅館・ホテルでは食材等の価格が上昇する一方、個人消費の低迷から宿泊単価を引き上げることができず、採算を悪化させる企業が多い。6月の内陸部での地震発生により、首都圏方面等からの団体予約にキャンセルが生じるなどの風評被害を受けている地域もある。

### ③ 関東

中小企業 の景況	2007年 1～3月 (前回調査)	2008/4～6	2008/7～9	2008/10～12 (見通し)
	 やや良い	 やや良い	 やや悪い	 やや悪い

#### 1 管内のマクロ経済情勢 (2008年7～9月)

関東地域の景気は、**弱含み**となっている。

**個人消費**は、弱含み。ガソリン・食料品の値上がりもあり、消費者のマインドは悪化傾向。

**住宅投資**は、前年割れが継続。不動産業界の信用不安もあり業界環境は悪化。

**設備投資**は、増勢鈍化。地域や業容によりバラツキがみられる。

**公共投資**は、低調に推移。

**雇用情勢**は、地域差はあるものの総じて弱い動き。

#### 2 取引先主要業種の動向

##### 2.1 印刷: 商業印刷では不動産業界からの受注減少

商業印刷・出版印刷ともに厳しい環境。紙・インクを始めとする原材料の度重なる値上げにより、収益力は低下している。販売単価の引上げ交渉を行うも、引上げを受け入れた販売先は限られ、また引上げを受け入れた販売先でも引上げ幅は十分なものではない。

特に、商業印刷に関しては、従来安定していた不動産業界からの受注が激減しており、売上の減少幅が大きい。業界では設備増強投資の見送りや、競争力強化のための工場集約化の動きがみられる。

##### 2.2 金属製品製造: 総じて堅調

大手鉄鋼会社の業績は、国内外の堅調な鉄鋼需要を背景に順調に推移。

原材料価格の高騰によりコストが増加している中、**自動車部品**関連や**電機**関連の製造業者では、モデルチェンジやブルーレイ関連の受注などによって総じて堅調な企業が多いものの、米国の景気停滞などにより、経営環境の悪化を懸念する企業も一部にみられる。

##### 2.3 電気機械器具製造: 納入先の生産調整や原材料価格上昇で収支を悪化させる企業も

液晶大手が第10世代大型液晶工場を建設中で今後相当量の受注も期待されるが、液晶価格の動向によっては投資規模が見直される可能性もある。HDD 部品や電波機器では受注好調な企業もあるが、製品納入先の生産調整や原材料費上昇により収支を悪化させている企業もみられる。

##### 2.4 輸送用機械器具製造: メーカーによる取引企業の選別が進む中、更なる努力を求められる


トラックは、中東・東南アジア向けの輸出が増加しているものの、セットメーカーが原価低減を指向して取引先の選別を始めていることから、各社とも原油高・材料高の中で更なる努力が求められている。また、これまでのところ乗用車も輸出向けを中心に堅調に推移しているが、取引企業の採算は依然厳しい。

##### 2.5 不動産 (建売・土地売買業): 一層厳しい状況

戸建住宅・分譲マンションとも需要低調であり、経営環境は厳しくなっている。景気の先行き不透明感などから、住宅購入者の取得意欲が減退していることに加え、建築資材の高騰や金融機関の融資態度の厳格化などもマイナス要因である。在庫調整を行っている業者も見られ、値下げ販売により収益も悪化傾向にある。

また、資金繰りを改善させるため、大口の物件を早期に損切り処分する業者や、市場低迷を受けてプロジェクトの中止や繰り延べを行う業者もみられる。

#### ④ 甲信越

中小企業 の景況	2008年 1～3月 (前回調査)	2008/4～6	2008/7～9	2008/10～12 (見通し)
	 やや良い	 やや悪い	 やや悪い	↓  悪い

### 1 管内のマクロ経済情勢 (2008年7～9月)

甲信越地域の景気は、**弱含み**で推移している。

**個人消費**は、各種商品、燃料等の値上がりの影響もあり、総じて弱含み。

**住宅投資**は、震災地区の復興という一時的な需要はみられるが、総じて低調。

**設備投資**は、自動車部品など一部に動きがみられるものの、全体的には企業の慎重姿勢が強い。

**公共投資**は、低調に推移。

**雇用情勢**は、総じて悪化傾向。

### 2 取引先主要業種の動向

#### 2.1 繊維品製造: 洋装・和装とも不振が続く

洋装関連は短納期化のニーズが一層強まったことから、一部で国内回帰の動きがみられるものの、海外勢と比べた価格競争力の低下は否めず、国内需要減もあり総じて不振。和装関連は大手販売店の倒産や過量販売問題等から市場の回復の目処がたたない状況。

総じて、受注量・単価とも引き続き厳しい状況であるものの、安価な中国製品と競合しない高級品に特化している企業の中には、業績好調の先も見受けられる。

#### 2.2 金属製品製造: 原材料費の高騰に値上げ交渉追いつかず

一部のステンレス材価格がこれまで高止まりし、仕入価格が上昇。総じて原材料費の高騰に対して値上げ交渉が追いつかず、収益を悪化させる企業が多い。

ある地域では、北米向けトラクターに用いられる部品等で大幅な減産がみられる半面、デジタルカメラ部品の生産はなお堅調さを保っている。

#### 2.3 一般機械器具製造: 建設機械では鋼材価格上昇に加え、円高の影響の声も

**工作機械**は、国内向け受注が減少。海外向け受注は高水準を維持していたものの、足元では減少。**建設機械**は、国内向けは工事量減少の影響で受注が大きく落ち込んでおり、米国内向けも景気の停滞により軟調に推移。鋼材等の原材料価格上昇に加え円高影響も出始めている。

#### 2.4 電気機械器具製造: 携帯電話等向けを中心に引き続き堅調

デジタル情報機器・車載用機器の需要増加に伴い、引き続き半導体を始めとする電子部品分野は概ね受注堅調に推移。但し、原材料の高騰による影響から引き続き利益率は悪化傾向。

## ⑤ 東海

中小企業 の景況	2008年 1～3月 (前回調査)	2008/4～6	2008/7～9	2008/10～12 (見通し)
	 良い	 やや良い	 やや悪い	↓ 

### 1 管内のマクロ経済情勢 (2008年7～9月)

東海地域の景気は、**減速感**がみられる。

**個人消費**は、底堅く推移。

**住宅投資**は、概ね横這い。

**設備投資**は、自動車関連で引き続き高水準であるが、伸びは鈍化。

**雇用情勢**は、良好。有効求人倍率には低下がみられるが、全国平均と比べると依然高水準。

### 2 取引先主要業種の動向

#### 2.1 繊維製品製造: 原材料コストの上昇等により大半の企業は苦戦を強いられている

近時の消費低迷による業績の悪化で、企業の廃業・倒産が依然続いている。生地製造業者は糸の値上がり、染色整理業(繊維製品の染色とその前後の精練、漂白、整理仕上げ)者は原油の高騰で、一段と利益が縮小し、大半の企業は苦戦を強いられている。小売段階でのバーゲンでの値引きは従来、5割引までであったが、今夏は7割引となり、これに合わせた商品の製造を迫られる中小アパレル業者がみられた。

#### 2.2 窯業・土石製品製造: 建設業界の低迷により瓦の不振続く

瓦製造では、住宅着工件数の前年比マイナス幅は縮まったものの、依然建設業界が低迷していることから、零細企業は廃業に追い込まれている。**ファインセラミックス**製造では、電子部品は新興国需要の影響で底堅い推移が見込まれる。**珪砂**(ガラスの主要原料)精製では、海外からの輸送コストの上昇で国内産の価格競争力が回復してきている。自動車ガラス、液晶パネル向けの需要は比較的堅調であるが、建設向けは弱い。


#### 2.3 電気機械器具製造: 国内競争の激化、原材料価格の高騰で全体の環境は厳しい

国内競争の激化、原材料価格の高騰で全体の環境は厳しい。また大手電機メーカー向けの中小型液晶に用いられる電子部品、特に携帯電話向けでは、**海外への生産移管**の流れが止まらず、生産は減少傾向にある。カーナビ等の生産は比較的堅調に推移してきたが、自動車販売の落ち込み等でここにきて減少見通しが浮上している。

#### 2.4 輸送用機械器具製造 (自動車部品製造): 北米市場向けは減速

ある大手自動車メーカーの関連では、同社が取引企業の選別を進めていることにより、取引企業間で明暗が分かれてきている。北米での自動車、特に大型車の販売減速と、原材料高の影響で総じて弱含み。別の大手自動車メーカーの関連では、これまでのところインド・ロシア向けなどがなお増加しており、取引企業も総じて底堅く推移。

## ⑥ 北陸

中小企業 の景況	2008年 1～3月 (前回調査)	2008/4～6	2008/7～9	2008/10～12 (見通し)
				
	やや良い	やや悪い	やや悪い	悪い

### 1 管内のマクロ経済情勢 (2008年7～9月)

北陸地域の景気は、**減速感**が強まっている。

**個人消費**は、衣料品の販売や旅行・宿泊も振るわず、弱含み。

**設備投資**は、一部業種を除き、一服感がみられる。

**住宅投資**は、弱含み。

**雇用情勢**は、需給が徐々に緩和しつつある。

### 2 取引先主要業種の動向

#### 2.1 繊維品製造：衣料用・自動車関連ともに低調

全体としては、生産・出荷ともに低調。原油価格高騰の影響は大きく、**衣料用**は販売価格への転嫁が進まない中で、メーカーの受注は減少傾向。業者の間では在庫の圧縮に努める動きが一層広まっている。大手繊維会社が重要な取引企業を囲い込む姿勢を強めており、取引企業の中では危機感が広まっている。**自動車関連**(内装材等)はアメリカの景気停滞により全体としては受注が減少に転じつつあるが、環境対応車向け等については比較的堅調。

#### 2.2 化学 (医薬)：生産は増加傾向が続いているが、収益状況はやや厳しくなりつつある

**OEM** 受注増や**後発**(ジェネリック) **医薬品**市場の拡大から、増産基調が続いている。受注確保のため積極的な設備投資の動きがみられるが、設備投資を実施できる体力の有無により企業間の格差が一層拡大している。化学原料の値上げ等、コストアップ要因もあり、収益状況はやや厳しくなりつつある。

#### 2.3 非鉄金属製造 (アルミ建材)：原材料高騰、住宅着工の回復の遅れから収支悪化傾向

アルミ業界は、原材料価格の高騰に加え、住宅着工が回復せず建材向け需要が弱いことから、収支が悪化した状態が続いている。建設業者の倒産も高水準であり、当面現在の状況が続く見込み。大手アルミ建材メーカーの取引企業等にとっては、仕事量の減少と販売価格引下げ要請の両面で大きな影響を受けている。

#### 2.4 一般機械器具製造：大手建機の強気姿勢変わらず

大手建機メーカーの一次取引企業の業績は高水準を維持。増産対応の設備投資は一巡したものの、大手建機メーカーが製造工程を部分的に取引企業に移管していることに伴い、新たな設備投資需要も一部にみられる。但し受注については、アジア向けを中心に大型建機は高水準だが、北米市場の冷え込みや、中・小型建機がピークを越えた感があるため、取引企業の受注状況にバラツキが生じてきている。

#### 2.5 宿泊 (旅館・ホテル)：稼働率が下げ止まってきた業者もあるが、客単価は下落傾向

震災後1年が経過し、客足が着実に回復している地域がある一方で、引き続き前年を下回る地域もある。7月には東海北陸道が全線開通し、名古屋方面からの国内旅行客や韓国・台湾等からの外国人旅行客の増加から、客室稼働率の低下に歯止めが掛かってきた業者もあるが、個人消費の冷え込みなどからホテル内での購買は少なく客単価は下落傾向にある。

## ⑦ 近畿

中小企業 の景況	2008年 1～3月 (前回調査)	2008/4～6	2008/7～9	2008/10～12 (見通し)
				

### 1 管内のマクロ経済情勢（2008年7～9月）

近畿地域の景気は、**やや弱含んでいる**。

**個人消費**は、大型小売店販売で衣料や身の回り品が不振。持ち直しの動きはやや弱い。

**設備投資**は、総じて増加。

**住宅投資**は、低調に推移。

**雇用情勢**は、有効求人倍率が低下基調にあり、弱含み。

### 2 取引先主要業種の動向

#### 2.1 食料品製造：厳しい環境続く

**清酒**製造業では、販売量は引き続き減少している。「健康」をキーワードに商品開発を行い、新たな清酒ファンを獲得しようと努める企業が見られるが、厳しい環境の中で、廃業、遊休資産の売却や賃貸を行う企業も多い。高級とのブランドイメージが定着しているマドレーヌ、ケーキなどの**洋菓子**製造業では、東京の百貨店での販売も好調で、業績が堅調に推移している企業もある。

#### 2.2 化学：新製品開発力のある企業は原材料コストの上昇を吸収

**プラスチック製品**製造では、原材料高から製造原価の上昇が続いており、日用品・汎用品を量販店向けに販売している業者では販売価格への転嫁が難しく、収支は一段と厳しい状況。高付加価値製品への切り替えなど新製品を開発する力のある企業などでは、原材料コストの上昇を何とか吸収し収支を維持している。

**化学薬品**製造では、原油高騰によるコスト上昇が続く一方で、受注状況は弱含んでいる。

#### 2.3 鉄鋼：断続的に行ってきた価格転嫁により下期は収支の好転を見込む

**電炉**では、7月まで鉄スクラップ価格が継続的に上昇してきたことから、20年度上期は赤字となる企業が多いと予想される。足元の鉄スクラップ価格は低下してきているが、減産によって販売価格を維持している企業もみられる。**伸線**業では鋼材価格の上昇を販売価格へ転嫁、今後も転嫁可能とする企業もみられる。

#### 2.4 金属製品製造：住宅関連のボルト・ネジへの需要停滞変わらず

**バルブ**は船用弁が引き続き好調であることに加え、これまでの設備投資が寄与し一般産業弁（製鉄、化学工業、食品プラント、工作機械、建機等向け）も堅調。**ボルト・ナット・ネジ類**では、住宅関連の需要が引き続き停滞。

#### 2.5 繊維品・身の回り品等卸売：テキスタイル、婦人アパレルともに厳しい状況が続く

**テキスタイル**卸では、国内市場が縮小する中で、原油高による原材料価格の上昇を販売価格へ転嫁しにくい状況が続いている。中国から安価な製品が流入している状況に変わりはない。

**婦人アパレル**卸では、昨年の冬物販売の不振を挽回すべく各社とも春夏物を積極的に取り扱ったものの、百貨店を中心に客足が鈍っており、引き続き売上不振。販売価格の低下も見られ売上・利益ともに厳しい状況が続いている。

## ⑧ 中国

中小企業 の景況	2008年 1～3月 (前回調査)	2008/4～6	2008/7～9	2008/10～12 (見通し)
	 やや良い	 やや良い	 やや悪い	 やや悪い

### 1 管内のマクロ経済情勢 (2008年7～9月)

中国地域の景気は、**横這い基調**の中、一部に弱い動き

**個人消費**は、概ね横這い。

**住宅投資**は、分譲住宅、貸家などが減少傾向を示しており、弱含み。

**設備投資**は、製造業が前年度比減少するなど、堅調ながらも減速感がみられる。

**雇用情勢**は、改善に足踏みが見られ横這い。

### 2 取引先主要業種の動向

#### 2.1 繊維品製造: 冬物の動き鈍く、受注確保に苦慮

春夏物は売上が伸びず、在庫の積み上がりが目立つ。**婦人服**は、需要の低迷が長期化しており、受注低迷。販売先では、販売状況を確認してから追加の発注を行う姿勢を強めており、メーカーは追加受注があっても短納期での対応を迫られることが多い。夏物の追加受注が少なかった中で、冬物の動きも鈍く、受注の確保に苦慮している。**ニット製品**についても需要が弱含んでいることに加えて原油高に伴う原材料高の影響もあり、採算は厳しい。

#### 2.2 木材・木製品製造: 建築基準法改正の影響は一巡した感があるが、依然厳しい

**製材業**は、建築基準法改正の影響は一巡した感があり、幾分回復している業者もあるものの、総じてみれば、原油高に起因する輸送費用の増加もあって、厳しい環境に変わりはない。

**合板**は、住宅着工件数の減少で、市況が大幅に悪化していたが、業界挙げての減産対応によって市況は下げ止まりつつある模様。ロシア産原木の関税引上げによる価格高騰への対応に迫られている企業が見られる。

#### 2.3 輸送用機械器具製造 (自動車部品製造): 増産投資から財務改善へ軸足を移動

地元大手**自動車**メーカーの一次取引企業では、増産投資拡大から財務改善や資金効率改善に軸足を移している感もある。別の自動車メーカーでは、北米依存度が比較的 low、中近東やロシア・東欧諸国向けの販売が増加していることから、高めの稼働率が続いており、業況堅調な取引企業もみられる。

⑨ 四国

中小企業 の景況	2008年 1～3月 (前回調査)	2008/4～6	2008/7～9	2008/10～12 (見通し)
	 やや悪い	 やや悪い	 やや悪い	 やや悪い

1 管内のマクロ経済情勢 (2008年7～9月)

四国地域の景気は、足踏み感が強まっている。

個人消費は、ガソリン価格、食料品の値上がりを受けて、やや弱い。

住宅投資は、新設住宅着工は弱い動きが目立つ。

設備投資は、景気の先行きに対する不透明感から様子見の動きがみられる。

雇用情勢は、弱含み。

2 取引先主要業種の動向

2.1 食料品製造: 年初の農薬混入問題の影響が続き、業界全体として低迷続く

年初の冷凍餃子の農薬混入問題の影響で、業界全体として引き続き低迷。減収減益傾向が続く。食品大手のある企業では、仕入先の絞り込みを行っており、品質等のニーズに対応できない取引先は厳しい環境が続く。

2.2 木材・木製品製造: 需要の低迷、原材料価格の上昇から総じて厳しい

製材業では、昨年後半からの需要落ち込みが回復していないなかで、ロシア材や東南アジア材が値上がりしている。仕入価格の上昇を販売価格に転嫁できず、採算を悪化させている企業が大半。仏壇製造業では、原材料の黒壇・紫壇の仕入価格上昇が続いており、仏壇の小型化や市場の縮小が進むなかで厳しい状況が続いている。家具製造業では、中国からの仕入部材の値上がり等で採算が悪化している企業が増加している。ヨーロッパ調高級家具は比較的好調。




2.3 パルプ・紙・紙加工品製造: 販売価格への転嫁は進んでおらず、今後も厳しい状況続く

パルプ、古紙、原油等原材料価格の高止まりが続き、採算は一層厳しい状況となっている。円高により、輸入原材料の価格上昇が幾分抑えられてはいるものの、トイレtpーパー等、最終製品の販売価格への転嫁は十分に進んでいないことから、今後も厳しい状況が予想され、業界内での淘汰が進むものと思われる。

2.4 輸送用機械器具製造 (船舶製造): 受注は確保できているが、先行き採算悪化の懸念もある

外航船の受注残は足元までは高水準で推移しており、各社とも概ね2010年～2011年までの受注は確保できている。一方で鋼材を中心とした原材料の高騰の影響から、採算面は厳しくなる見通し。鋼材価格が上昇している一方で、現在建造している船舶は、概ね2～3年前の鋼材価格が安い時点で契約したものであり、また、契約後の価格転嫁は難しいことから、低採算での建造を余儀なくされる懸念がある。また、小規模造船所では、資材確保が難しくなるケースも出ている模様であり、業界内で再編に至る可能性も。

## ⑩ 九州・沖縄

中小企業 の景況	2008年 1～3月 (前回調査)	2008/4～6	2008/7～9	2008/10～12 (見通し)
	 やや悪い	 悪い	 悪い	↓

### 1 管内のマクロ経済情勢 (2008年7～9月)

九州・沖縄地域の景気は、**弱含み**。

**個人消費**は、総じて弱含み。

**設備投資**は、概ね横這い。

**住宅投資**は、減少傾向続く。

**雇用情勢**は、有効求人倍率が低下傾向を示すなど、総じて弱含み。

### 2 取引先主要業種の動向

#### 2.1 陶磁器製造販売: 市場の縮小が続いており、依然として厳しい状況

**市場規模の縮小**が続いており、依然として厳しい環境。新製品開発や催事開催等に積極的に取り組んでいる企業はあるが、全般的な需要低迷とガスや陶土等の原材料価格の上昇に伴い、業況は厳しい。特に、ホテル・旅館・料亭向けの高級割烹食器・観賞用食器の需要減退が著しい。

#### 2.2 鉄鋼: 販売価格の引下げ圧力が懸念材料

**電炉**では、原材料の鉄スクラップ価格が夏場以降下落傾向に転じており、資金繰りは改善が見込まれている。しかし販売先からの単価引下げ要請の材料にされることが懸念される。

**シャースリット業**(シャーリングとスリットの合成語。前者は鋼材を剪断し、後者は鋼板を縦切りする加工)では、大手からの単価引下げ要請等、採算面では引き続き厳しい状況が続くが、受注量は全般的に堅調。比較的安価な仕入ルートの確保と鉄屑の高値販売が収益の確保に寄与している企業もみられる。

#### 2.3 小売: 大手の進出により売上減少

大手百貨店や大手スポーツ用品店の出店、郊外型大型ショッピングセンターの進出により、中心市街地の商店街では売上減少影響を受けた店舗がみられる。

商店街では、店舗の改装や商店街PRの広告等を行う他、空き店舗に知名度の高いファーストフード店や紳士服小売店等を誘致するなどし、商店街全体の集客力強化に努めている。

#### 2.4 道路貨物運送 (トラック運送): 燃料高騰から車両再投資を見送る企業が増加

燃料高騰を受け採算悪化。特に燃料原価比率の高い長距離輸送業者は人件費を削減しても収支は厳しい状況。人件費削減・効率配送による燃料高騰のコスト増加吸収も限界にきており、車両再投資を見送る企業が増加している。

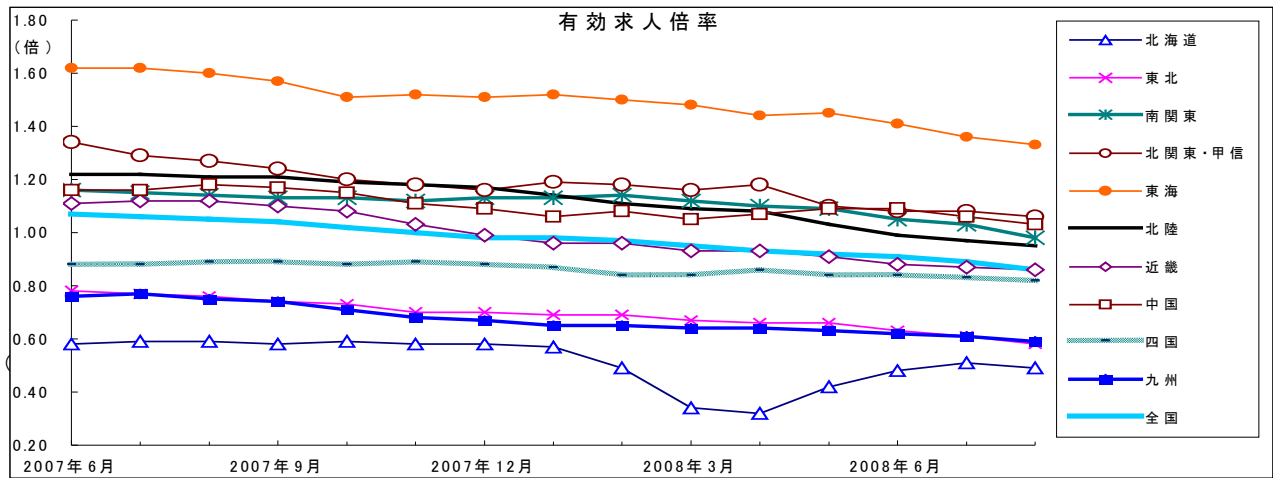
#### 2.5 宿泊 (旅館、ホテル): 沖縄・鹿児島は総じて好調だが、他県では悪化している地域も

沖縄県では、燃料サーチャージ高騰により海外旅行から国内旅行に切り替えた観光客がみられたことや、海外からの観光客の大幅増もあり、20年入り後も入域観光客数は過去最高水準で推移し、「**沖縄ブーム**」が続いている。また、鹿児島県では、NHK大河ドラマ「篤姫」放映の影響もあり、総じて好調。ただ、他県では燃料高の影響もあり、客足が減少ないし頭打ち傾向を示し、収益が徐々に悪化している地域もみられる。

# ★参考★ 地域別主要マクロ経済指標

## (有効求人倍率)

- 東海、北関東・甲信、中国は1倍超。
- 各地域とも弱含み傾向。

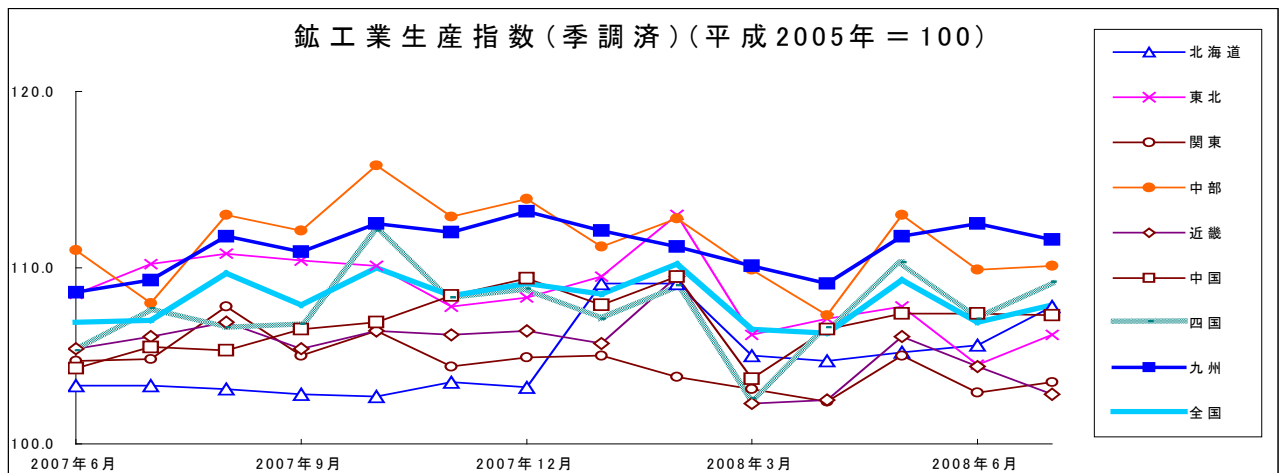


	北海道	東北	南関東	北関東・甲信	東海	北陸	近畿	中国	四国	九州
都道府県	北海道	青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島	埼玉、千葉、東京、神奈川	茨城、栃木、群馬、山梨、長野	岐阜、愛知、三重、静岡	新潟、富山、石川、福井	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	岡山、広島、鳥取、島根、山口	香川、徳島、愛媛、高知	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

(厚生労働省)

## (鉱工業生産)

- 九州、中部が比較的高く、四国が続く。
- 近畿、関東は、足元一層低調。



	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
都道府県	北海道	青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、新潟、山梨、長野、静岡	岐阜、愛知、三重、富山、石川	福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	岡山、広島、鳥取、島根、山口	香川、徳島、愛媛、高知	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島

(各経済産業局)

# 「中小企業の地域別景況」の推移

		2006/4～2007/3				2007/4～2008/3				今回調査		
		06/4～6	06/7～9	06/10～12	07/1～3	07/4～6	07/7～9	07/10～12	08/1～3	08/4～6	08/7～9	08/10～12
		① 北海道										
② 東北												
③ 関東												
④ 甲信越												
⑤ 東海												
⑥ 北陸												
⑦ 近畿												
⑧ 中国												
⑨ 四国												
⑩ 九州・沖縄												

※「中小企業の地域別景況」における地域区分（ ）内は都道府県数

- 1 北海道 (1) 北海道
- 2 東北 (6) 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 3 関東 (7) 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- 4 甲信越 (3) 新潟県、山梨県、長野県
- 5 東海 (4) 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- 6 北陸 (3) 富山県、石川県、福井県
- 7 近畿 (6) 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 8 中国 (5) 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 9 四国 (4) 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 10 九州・沖縄 (8) 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(参考) 上記期間の「中小企業月次景況観測」景況判断指数平均値

2006/4～6	2006/7～9	2006/10～12	2007/1～3	2007/4～6	2007/7～9	2007/10～12	2008/1～3	2008/4～6	2008/7～9	2008/10～12
50.0	50.1	49.9	49.2	49.1	48.3	46.4	44.8	42.0	40.5	n.a.

・晴れ	・薄日	・薄曇	・曇	・小雨	・雨
非常に良い	良い	やや良い	やや悪い	悪い	非常に悪い

本資料は情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資判断の決定につきましては、お客様ご自身の判断でなされますようお願いいたします。また、文中の情報は信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、商工中金はその完全性・正確性を保証するものではありません。